

4月17日 復活節第4主日

羊飼いに従う

ヨハネによる福音書 10章 27～30節

「²⁷わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。²⁸わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。²⁹わたしの父がわたしにくださったものは、すべてのものより偉大であり、だれも父の手から奪うことはできない。³⁰わたしと父とは一つである。」

他の朗読：使徒言行録 13:14, 43～52 詩編 100:1～3, 5 黙示録 7:9, 14～17

Lectio…読む

この箇所はヨハネが伝えた、イエスの父なる神との関係についての、イエスと人々との間の活発な議論のもっと長いまとまりの一部からとられたものです。

物語はイエスに石を投げようとする人々で終わります。イエスを殺そうとする彼らの意図にイエスが挑戦したとき、彼らは「善い業のことで、石で打ち殺すのではない。神を冒瀆したからだ。あなたは人間なのに、自分を神としているからだ」(ヨハネ 10章 33節)と答えました。

イエスは彼らが理解しているよりももっと深く、彼らの心の中を見えています。イエスは彼らがイエスの羊でないから(ヨハネ 10章 26節)彼を受け入れないであろうことを知っていました。そして、御父はイエスを信じる者として彼らをイエスに与えてはいなかったため、彼らはイエスの羊たちではありませんでした。

イエスは信仰が神秘的な賜物であり、素晴らしい恵みであることを暗示しています。御父により恵みが与えられない限り、誰もイエスを信じることはできません。

ヨハネ 6章の中で、イエスは別の方法でこの考えを伝えています。イエスは困惑した聴衆たちに、自分は神のパンであり、もし命を得たいならば彼らはイエスを食べなければならないと告げました(ヨハネ 6章 25～59節)。ここでもまた、信じるようになるための信仰には神の恵み深い賜物が必要です。そして御父だけがその恵みを与えてくださるのです。

もし父なる神がある人に恵みを与えるならば、その人はイエスのものであり、イエスの羊たちの一人になります。その人たちは、イエスが教えるすべてのことを理解しながら成長することができ、永遠の命を受けることができるようになります。しかし、成長するためには常にイエスに触れていなければなりません。

イエスに石を投げようとした人々は、まだ御父から信仰の贈り物を受け取っていません。もし彼らの心と思いが開いていたならば、これが信じるようになるために御父の助けと恵みを求めるチャンスだ、と理解することができたでしょう。しかし「山羊」はこのチャンスを断り(マタイ 25章 32節)、イエスを神の子として受け入れるのを拒否しました。

この不確かな時代には、神に従う人々にイエスが与える約束以上に強い約束はありません。誰も、そして何も私たちを神から引き離すことはできないのです。このことは更にローマ 8章 38、39節の中で説明されます。わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、何事もわたしたちを引き離すことはできない、ということは真実です。この約束は生きている間だけのものではなく、私たちの死を超えて永遠のものなのです。この約束は生きている間ずっと、そして死後永遠に続くのです。

Meditatio…黙想する

本日の箇所の中でイエスは、彼の羊であることによって得られるいくつかの特典について話しています。それぞれがあなたにとって何を意味するか考えてみましょう。

キリスト者として私たちは、神が全てを知っておられると信じています。しかし時として私たちは、そうではないように行動したり、祈ったりしてしまいます。27節でイエスは私たちに、彼が自分の羊を個々に知っていることを思い出させてくれます。これで確信がもてるでしょうか。それとも持てないでしょうか。あなたの答えを考えてみてください。

「わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。…彼らはわたしに従う。」

イエスの声に耳を傾け、彼が言うことを行うことを、あなたはどのくらいできているでしょうか。あなたがもっと従順であるために何をするのが一番よいのかをイエスに尋ねてみましょう。

もし、イエスへの信仰が御父からの賜物であるならば、このことをどのように、イエスを信じていない人々への私達の態度に反映させるべきでしょうか。

Oratio…祈る

この箇所と神に向かう祈りの中での黙想の時間から、神があなたに示してくれることを挙げてみましょう。急がず、時間をかけましょう。

詩編 100 編を読み、イエスへの信仰の賜物をあなたに与えてくれたことを神に感謝するために、これを用いましょう。

Contemplatio…観想する

キリスト者として、あなたが御父からの神の子への贈り物であるということを考えてみたことがありますか。あなたの羊飼いであるイエスとあなたの関係について、考えてみましょう。